

EASTER VILLAGE



イースタービレッジだより・第 30号



音楽の聖人の名をもらったセシリア、一歳になりました

私の好きな言葉

鈴木晴美

2年ぶりに訪れたイースタービレッジ。大きな建物と土地が増え、さらに多くの花も増え、驚きました。そんな豊かな環境の中で、子どもの笑顔は変わっていませんでした。子どもの歌声、笑顔、輝いた瞳を見ると、私の大切な場所に戻ってきたという実感がわきました。

子どもたちが話すビサヤ語。数少ない私が理解している単語の中で、好きな言葉は「アテ」(お姉さん)です。滞在中一番子どもたちにさげばれていた言葉。子どもたちが「アテ ハルミ」とかけよっていると全てをささげたくなるような感情になります。魔法の言葉です。

日本で生まれ育った私が、違う国の育った環境が全く違う子どもたちと出会い、笑い合うことは、奇跡的なことだと感謝しています。これからも、私は子どもたちにとって笑顔に触れることができる「アテ」であり続けたいです。そして、イースタービレッジの子どもたちは、私にとって大切な安らぎと元気を与えてくれる大きな支えです。

「ハンバツ！ハンバツ！」と抱っこをねだってくる子どもたちの声が、「ガンバツ！ガンバツ！」って、自分に向けてのエールを送ってきてくれるように感じました。

ゆったりしたフィリピンの時の中で、大きな瞳をした子どもと見つめ合いました。その子の瞳は黒くて大きくてピカピカに輝いていました。そして瞳の奥には、自分の忘れかけていた素直な笑顔がうつっていました。

ありがとう。またね。アテ ハルミ

マリナオンハウス完成

EVの土地拡大に伴い、長年の願いでもあった職員住宅を完成させました。前の所有者が車庫として使っていたものを改装して出来上がりしました。「平和な」を意味するマリナオンハウスと命名されました。



全部で四部屋あります。手前の部屋はトイレ付、この建物の後ろにトイレが二つ、台所もあります。

また、ホープホームを結ぶための橋を作りました。川の中にコンクリートの柱を三つたて、その上にフィリピンの丈夫な竹を乗せ、ワイヤーを手すりにして出来上がり。川から見る眺めは絶景です。



新EVCC建築始まる

EVCC（チャイルドケアセンター）の園児数も徐々に増え、今の一つしかない教室では手狭になりつつあり、EVの前の土地に移転する予定で建築を始めました。



小雨の中、大工さんたちと一緒に工事の安全を祈りました。来年1月完成予定です。

来年には園児数増加を見込み、地域の子どものための貢献に加え、EVの経済的自立に向けたプロジェクトのスタートです。

EVショップ完成

目の前の土地にショップが完成しました。現在は、パンやお菓子類、ジュースなどを販売していますが、将来的には奨学生や少数民族、他のNGOの作ったものを販売するつもりです。現在は近所の方や大工さんなどが利用しています。自前のパンなども販売できればこれもまた自立に向けた一つの貢献になると考えています。



黄色い建物にしました。少しずつ近所の方々もジュース類などを買いにきています。EVのサリサリストア（雑貨屋）です。

キダバワン教区司祭訪問

キダバワン教区司祭の一日静修がEVと聖心聖堂で行われました。

これは7月に行われた理事会の際、副理事長のロムロ・デラクルス司教の依頼によるものです。理事会でも多くの司祭たちに関心を持ってもらうことが話し合われました。

この日の静修は、司祭年のためにバチカンに集まった五大陸からの司祭が教皇ベネディクト16世に直接質問した内容とそれへの教皇の答えを黙想する内容でした。キダバワン教区内で唯一のエアコン完備の聖堂で集中できたと好評でした。



20名以上の司祭が参加。最後はミサ聖祭でしめくくり。EVを見学したり、花をもらっていく司祭も

マレーシア政府より寄付

毎年イスラム教のラマダン（断食の時期）には、マレーシア政府はミンダナオのイスラム、キリスト教関係の施設にお米や缶グッズを贈っています。今年は副知事のはからいもあり、E.V.が選ばれました。ありがたいことです。



マレーシア政府の代表の方々三名、自らプレゼントを運んでくださいました。コタバト市でJICAと協力しミンダナオのために働いている人たちです。

訪問者・ボランティア

4月からシスター春日井と一緒に修道院に滞在していた美底沙織さんが7月の末に帰国しました。滞在中は子どもたちと遊んでくれるほか、得意のピアノやギターを子どもたち

に教えてました。また、ミサの時にはオルガニストもつとめてくれました。



ピアノを習っている子どもたちにとって憧れのさおりさん。

四月の中旬から滞在している山名静さんは美幌町でソーシャルワーカーとして働いていましたが、退職して一年間、フィリピンでボランティア活動をする目的で滞在しています。E.Vでもすっかりバリンアートの達人として知られ、また、E.V.CCでもボランティア活動をしています。また、ダバオのいくつかの施設でもボランティアを重ね、9月からはマニラに場を移して見識を広げる予定です。



左から山名田さん、ジョピリン、守川さん。子どもたちのために色々な遊び道具を考えてくれます。

ダバオで4月から英語の勉強をしていた守川あゆみさんは筑波大学の学生で国際関係の勉強をしている沖縄出身の方です。

二度ほど訪ねてくれましたが、英語の勉強を終えて、2週間ほどE.V.に滞在し、毎日精力的に子どもたちとふれあい、子どもたちの笑顔を満喫しています。

今回イースタービレッジ雑誌にはもう一人の訪問者の文書が出ています（7頁参照）。国際基督教大学で哲学を勉強している根津将大さん。一ヶ月の滞在で感じたことを投稿してくださいました。

ご寄付いただいた方々、

心より御礼申し上げます

（敬称略、順不同）

大竹紀子 雪田瑠美子 祐川暢生
高島正人 奥村力
カトリック北26条教会
宍口三千江 野島美津江
阿部秀子 恒川葉子 舛田富榮
村木ウタ子 渡辺幸治 阿部壽秋
湯浅節子 佐藤政則 佐藤道子
天使の聖母トラスチヌ修道院
カトリック浦和教会有志
佐山淑子 聖ベネディクト修道院
亀田久美子
カトリック湯川教会・サマリア会
扇谷ウタ子 祐川眞一 上野祐子
水口透 西村照子 山崎晴美
建部裕美子 山岡安江 武田重幸
聖心の布教姉妹会・鳴海修道院
鶴田幸子 鈴木晴美 波田委美
根津将大 本田修二・メレス
その他匿名の方々



2010年6月3日～8月3日

イースタービレッジの聖堂

創立記念日

8月6日(土)、E.Vの8周年記念の行事が行われました。



朝8時から感謝のミサが聖心聖堂で行われました。毎朝5時半からのミサでだいぶ慣れてきた侍者たちもこの日に合わせて作った侍者服を着てデビューです。E.V.C.Cの関係者、E.Vの職員の家族なども集まって感謝のミサを捧げました。



侍者と朗読奉仕者も奉仕服を着用。ビビは答唱詩編を歌いました。聖堂は満席になりました。

ミサ後はE.V.HとE.V.C.Cからのパフォーマンスを披露。家族的な雰囲気の中で、笑顔の絶えない集いになりました。



ウェルカム(歓迎)の歌と踊りを披露するE.V.H(イースタービレッジホーム)の子どもたち。踊りでは互いに支えあっていることを表現しています。新しい子どもたちもすぐに振り付けを覚え一緒に歌います。

この日はまた懐かしい顔ぶれも見る事ができました。



トントンとインダイも創立記念日に訪ねてきました。元気な姿をみて、職員も子どもたちも大喜び。トントンは6年生、インダイは2年生。お母さんのもとから元気に学校に通っています。

それぞれの出し物が終わると、子どもたちは遊び用のお金をもらい、それぞれの出店で好きなものを買うことができます。春巻きやフライドチキン、豚の丸焼き、スパゲツティ、バーベキュー、綿飴、アイスクリームなど。職員とホープホームのお兄さん、お姉さんなどが協力してくれました。



お昼まで晴天の中、楽しい一日を過ごしました。午後は懐かしい顔ぶれもそろい、カラオケ大会。

この日は本当に晴天に恵まれました。出店も好調の売れ行きで、楽しい会話も弾み、家族や地域の人たちと、また、E Vの卒業生などとも絆を深める一日となりました。支援者の皆様に感謝申し上げます。



日本の学校での子どもたちの環境や保護者たちとのかかわりの難しさ、また、「ゆとり教育」後の教育について悩みつつも真剣に取り組もうとしている若い先生方に、日本の子どもたちの未来は決して暗くないと感じました。

この日を含んで一週間滞在した鈴木晴美さんと渋谷委美さん。二人とも小樽で小学校の教師として働いています。渋谷先生はメールで「そちらでの経験は、確実に私の中の何かを変えてくれました。様々な考え方が変わり、やりたいことがたくさん増えました！」と書いてくれました。



今年から大学新卒のピアノ先生も加わり、若い力で子どもたちをリードしています。特に踊りやささまざまな遊びでは先生のタレントを見る思いがします。教会活動で子どもたちの指導もしていたので、子どもたちはお姉さん気分であついています。

E V C C O の子どもたち
チャイルドケアセンターの子どもたちも記念日には得意のダンスなどを披露してくれました。口コミなどで今年は人数も30名ほどになりました。



生まれて初めてのハロハロを食べるメリーアン

A Jハイタイムというキダパワンで一番と評判のホテルの厨房を見学。子どもたちは興味津々でした。

各月にテーマをもって保育を行っています。先日はホテルの厨房を見学。どのように食材を用意し、衛生面に気をつけ、料理して出すのかを見に行ってきました。もちろん、その後は、ちゃんと美味しい食事をいただきました。
フィリピンのフラッペであるハロハロとサンドウィッチ、スパゲッティなど楽しいフィリドルトリップになりました。

新しい子どもたち

ダバオのトリル地区から自分たちだけでキダパワンにたどり着き、困っているこの子どもたちを見た人からEVに行ってみるようにならわれ、突然訪ねてきました。トリルのソーシャルワーカーとも連絡をとりつつ、一時的保護をEVがすることとなり、引き受けました。

花に囲まれたEVで徐々に笑顔を取り戻しています。右からプリンセス(13)、アイヴィー(12)、そして弟のアリス(7)。今後、最善の道を各機関と協力して模索します。



今は学校に行けないので、自習の他に庭の手入れや掃除などを良くやってくれる仲の良い姉弟です。

誕生日おめでとう

7月生まれば4人。まず1歳の誕生日を迎えたセシリア(20日)とマージェイラ(30日)、この日はビビの15歳の誕生日でもあります。6日でクラリスは2歳に。



まつ毛の長い瞳の大きなセシリア。笑顔をいつもまわりに振りまいています。聖人セシリアの名前の通り音楽がかかると自然に体が動き、指揮までしてしまう女の子。将来が楽しみ。上の写真は7月生まれ勢揃い。ビビももう15歳。

7月の誕生会は、1歳の誕生日が二人もいたので盛大に。

8月28日はEVで初めての誕生日を迎えるアリス、8歳になりました。この日は、ちょうど



最近少し立てるようになってきたマージェイラ。ふくよかな顔がチャーミング。クラリスはもうすっかりお喋りになって、あっち行け、こっち行けと命令します。パパは大変です。



上の二人のお姉さんが性格が強いせいか、大人しいアリスですが、繊細な神経を持ち、優しい男の子。EVにもずいぶん慣れてきました。

EVからマニラに移ってボランティアを続ける山名田さんの壮行会と守川さんの送別会も兼ねたものとなり、祐川神父から伝授された吉家よりちよつと美味しいかもしれない牛丼を6キロ分も作ってくれました。
4時から感謝のミサに続いて、誕生パーティー、壮行会、送別会と楽しく過ごした一日でした。



EVの新しい仲間



牛丼6キロ完売



イースタービレッジ雑感 (24)



今回は北海道の室蘭出身で、EVに一ヶ月間滞在した国際基督教大学三年生の根津君に感想を書いていただきましたので、このコーナーでご紹介いたします。彼は大学で哲学を勉強中です。

イースタービレッジに滞在して



今回、僕は大学の夏休みを利用してイースタービレッジに一ヶ月間滞在させて頂きました。日本に帰ってきた今から思うと、ボランティアとして滞在してはいたものの、僕が何か子供達にしたことよりも子供達からしてもらったことのほうがはるかに多いように思います。



何よりも子供達が何気なく顔に浮かべる素直な笑顔から僕はかけがえのない希望を貰いました。イースタービレッジに着いた最初の日、初めて会う僕を笑顔で歓迎してくれ、翌日には僕の名前を覚え、滞在している間を通して皿洗いぐらいしか役に立たない僕にいつも笑って駆け寄ってきてくれました。

僕のことを無条件に肯定してくれるような子供達の笑顔を見るたびにいつも、日本にいた時には感じなかったような幸福感を感じていました。そして、彼等はどんな辛い状況にいても人は笑って幸せに生きていけるということを僕に教えてくれました。



日本で辛いことがあった時は、彼等の笑顔を思い出したいと思います。彼等がこれからもイースタービレッジで笑顔を周りに振りまきながら幸せな人生を生きられるように願っています。

ねづ まさひろ
根津将大





ダランダン dalandan

ダランダンは柑橘系でフィリピンでは一般的にどこでも食されています。値段も安く、甘酸っぱいダランダンは主にジュースにして飲むのが一般的です。もちろん、みかんのように皮をむいて食べてもよし。皮はピコ（ご飯にココナッツミルクや砂糖を入れて作るおやつ）に香り付けとしても使われます。市販のジュースも美味しいです。お試しあれ。

<支援のお願い>

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子どもたちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争の原因を取り除く平和の使者となるようにできるだけだけの援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」(支援者募集)

代表 勝谷 太治 事務局 鈴木 みち子 松川 厚明
060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000 (一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号 : 02760-3-39473

口座名称 : イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務所: EASTER VILLAGE OFFICE

Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel: 63-64-278-4742 Fax: 278-3116 Email: info@eastervillage.com

Website: http://eastervillage.com

* 会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付を下さった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年四回)

2010年9月

「イースタービレッジだより第30号」

発行責任者: 祐川郁生

